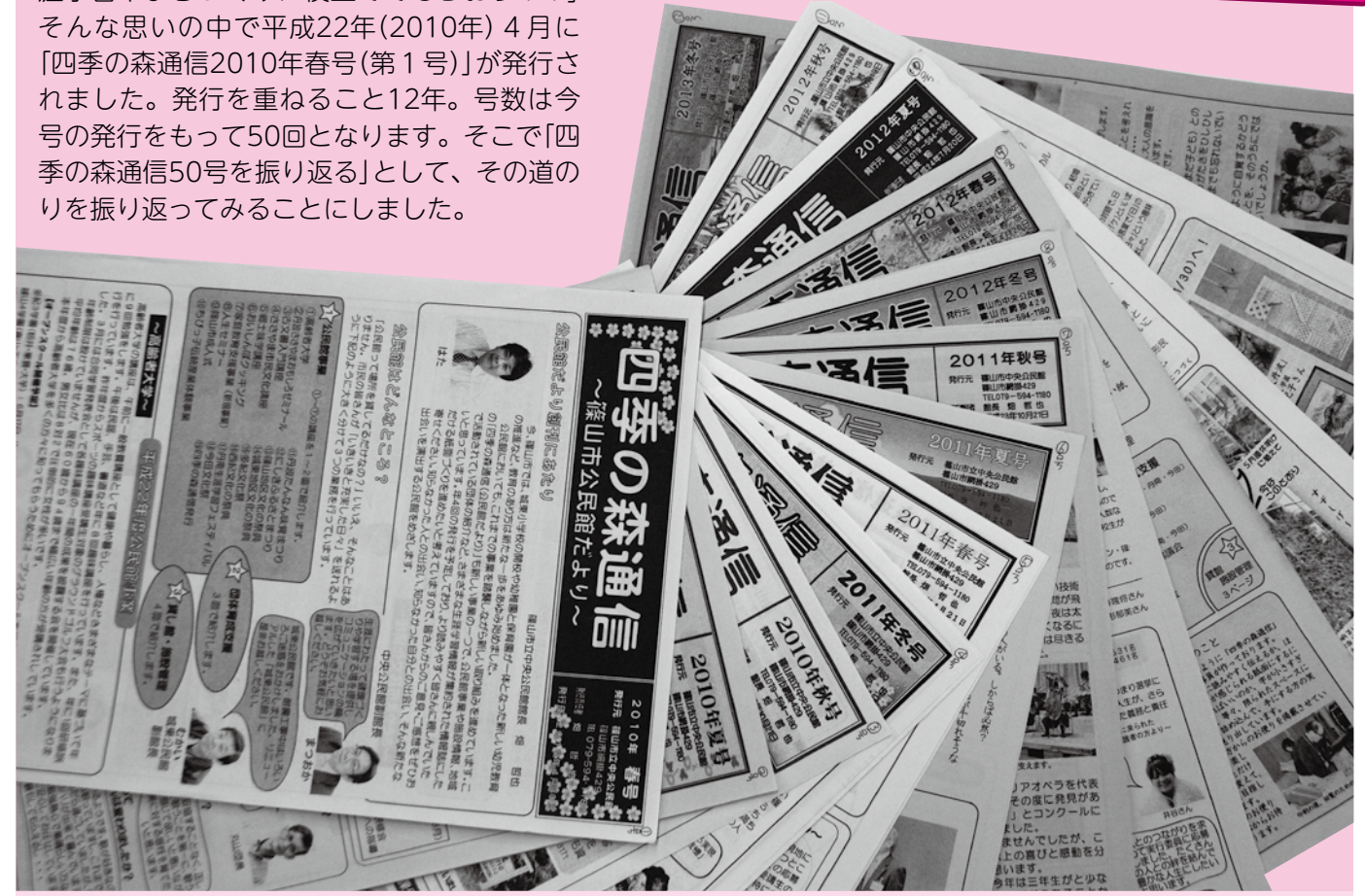


丹波篠山市公民館だより 第50号 四季の森通信

発行元 丹波篠山市立中央公民館
丹波篠山市網掛429
TEL 079-594-1180
館長 大路和浩
令和5年3月20日

四季の森通信50号を振り返る

「市民の皆さんに対して、公民館の運営状況と社会教育に関する必要な情報を提供し、生涯学習やまちづくりに役立ててもらおう!!」そんな思いの中で平成22年(2010年)4月に「四季の森通信2010年春号(第1号)」が発行されました。発行を重ねること12年。号数は今号の発行をもって50回となります。そこで「四季の森通信50号を振り返る」として、その道のりを振り返ってみることにしました。

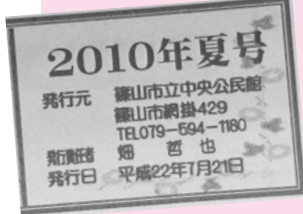


名称の由来に隠された思い

「四季の森通信」の名称の由来は、発行元である「丹波篠山市立中央公民館」の所在が「四季の森生涯学習センター」内であることから思われがちですが、実はもうひとつのストーリーがあるのです。それは、年4回発行されることから、春夏秋冬の四季に合わせたさまざまな情報を提供しようという思いがあり、単に「1号、2号・・・」と名付けるのではなく「春号、夏号、秋号、冬号」とし、タイトルバックにも、四季を感じていただけるように季節の花や季節を感じられるものをあしらいました。この取り組みは、2013年秋号(第15号)まで続き、その後は16号、17号・・・と回を重ね、今回50号の発行となりました。

それは手刷りから始まった

現在は、年3回「広報丹波篠山」への折り込みとして全戸配布されている本誌ですが、発行当初は、年1度の全戸配布の他は、市内各支所を含む各施設への配布や会議、催しでの配布にとどまっておられ、担当者自らが輪転機を回し手刷り印刷で作成していました。次ページからは、そんな四季の森通信の変遷についてお話ししたいと思います。



川柳

最終回 お題「峠」 大西 重男 選

最優秀句

応募数 12人42句 評価ポイント*以下(評ボ)
来た道を辿る人生九十九折れ
草ノ上 高橋 祥男

優秀句

寄り添って越えた峠に想い馳せ
井串 脇田 敬子
長い人生では、悲喜こももいるいろいろありましたが、それは数えきれない程で、九十九と表現されたのは見事です。

人生は峠も谷も心電図

杉 内山 俊朗
心電図を撮ってもらうと、そのグラフの高い所が峠で低い所が谷とも言える。なかなかよいところに目をつけられましたね。

古い峠夢で元気を支えられ

奥県守 古谷 春美
歳はとつてもまだまだ夢を持ち続けることが大事ですね。長生きするといふことがいっぱいあります。頑張りますよ。

総評

今回はたくさんの方の投稿がありました。そのどれもが佳句で、選考に苦慮するうれしい悲鳴をあげました。投稿の多くが「永い人生を経験された皆さんの思い、出を表現されたものが目立ちました。これからの皆さんの句を作ってください。」という声がありました。

一生勉強一生青春 最終回

松木 満さん (住山)

「おもたせで人とのつながりをお手伝いしたい！」

松木さんは現在バザールタウンの近くで、洋菓子店を営まれています。厳しい修業時代を経ているとまわり道してきたけれど、無駄ではなかったと言われます。「やめようかと思ったこともあるけれど、ケーキを作るのも食べるのも好きだからこそ、続けられた」と振り返っておられます。

【記者より】

今年43歳になられる松木さん。コンクールで日本一になったケーキは娘さんが生まれた感動で娘さんの名前を付けたケーキでした。穏やかで、誠実な人柄の松木さんがつくるケーキは本当においしいです。インスタグラムでフォローしてみてください。



大阪の枚方で生まれ育ち、高校卒業後、製菓専門学校を経てこの世界に入りました。神戸の洋菓子店で修業した後、尊敬する親方のもとでコンクールに出展したくてセラトン都ホテル大阪に移りました。おかげで、ケーキのコンクールに出展し日本一になることもできました。その後は独立を念頭に、芦屋と金沢で新規のお店の立ち上げに関わり9年前に篠山で今のお店をオープンしました。

神戸のお店の時に同僚だった妻は篠山出身で、初めて妻の実家に行った時篠山の食材のおいしさに感動し、これをケーキの材料に使いたいと思い、住山ごぼうを使ったガトーショコラを作りました。

今は自宅で百姓仕事もして、ケーキの食材(ごぼうや黒豆の他に、レモングラス・ルバーブ・桃・かぼちゃ・山椒など)も栽培しています。

ケーキ作りで心掛けているのは穏やかな気持ちで作ることです。イライラしているときや焦って作ると、それがケーキに出てしまいます。ケーキは人を笑顔にできるもの、幸せのひとときのお手伝いだと思います。

編集後記
・1年間、編集者間の意見交換、記事作成、編集を通してさまざまな人とつながることができ、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。(と)
・四季の森通信は、公民館から皆さんに発信するメッセージとして満足していただけるものであったと思っております。再発行まで失礼いたします。(寿)
・四季の森通信は、地元の情報発信源です。しばらくの間休刊しますが、読者の皆さん楽しく、愉快的な情報やグルメ情報を蓄積しておいてください。(吉)
・「川柳」「一生青春一生勉強」コーナーを担当し、丹波篠山で頑張っておられる方を取材して、自分自身が勉強になりました。(安)
・創刊から関わってきましたが、まだまだ伝えきれないことばかりです。新たな情報発信の機会までの「充電期」と捉えることとします。(M)

四季の森通信のあゆみ

- 2010. 4.30 ● 「四季の森通信2010年春号(第1号)」として誕生。支所など、市内各公共施設へ400部を配架
- 2010. 7.21 ● 2010年夏号(第2号)より、公共施設配架以外に隣保回覧を開始
- 2011. 1.21 ● 2011年冬号(第4号)初めて市内全戸(約16,300戸)配布
- 2011. 4.21 ● 2011年春号(第5号)新コーナーとして「論語コーナー」始まる
- 2012. 4.20 ● 2012年春号(第9号)より読者参加型の新コーナーとして「川柳コーナー」の掲載開始
- 2012. 7.20 ● 2012年夏号で創刊10号。篠山のお祭りを特集し「丹波の祇園さん」とし波々伯部神社祭礼を紹介
- 2013. 1.21 ● 2013年冬号(第12号)より頑張る方を紹介する「一生勉強一生青春」コーナーを掲載開始
- 2013.10.21 ● 2013年夏号(第14号)にて「論語コーナー」終了
- 2014. 2.21 ● この号より「春、夏、秋、冬号」の標記から「第16号」として通し番号を使う
- 2015. 2.20 ● 創刊第20号「成人式」「第4回桶っ卓球」を特集
- 2015.12.21 ● 創刊第23号より「広報丹波篠山」に折込開始。2色刷りとなり輪転機による印刷を終了
- 2017. 8.21 ● 新コーナーとして「篠山のむかしばなし実物写真館」「ささやまあるある博覧会」両コーナー始まる
- 2017.12.21 ● 創刊第30号「たんなん味覚まつり」や各地区文化の祭典を特集
- 2020. 3.19 ● 創刊第40号「桶っ卓球世界大会」の様子をレポート
- 2023. 3.20 ● 創刊第50号「四季の森通信50号のあゆみ」を特集

四季の森通信
バックナンバー



新たなステップをめざして

情報の発信は、太古の「口伝」から紙媒体へと変化をし、科学の発展により、ラジオやテレビの「電波」を用いて、より多くの情報を、人々に届けられるようになりました。そして、昨今では、インターネットを利用した「SNS」などによる情報発信が主流となりました。
「単に活字だけでなく、その行間や空白に詰め込んだ思いを読み取っていただきたい」との思いで発行を続けてきた本誌ですが「新たなステップ」をめざし、本号をもって紙媒体での発行は発展的終了をさせていただきます。これまで長きにわたるご愛読ありがとうございました。

◆読者の声◆ ～編集に関わった方・愛読者の方の声～

取材を通じて感じた喜び

創刊号から令和3年度3月の第47号まで発行に携わってきました。最初の頃は、紙面をパソコンで作成し印刷して、折って、配布の仕分けまで全て手作業で行っていました。結構大変でしたが、手作り感と皆でやった感が好きでした。記事作成については、分かりやすさと公民館としての品格を大切にきたつもりです。読者の皆さんにそれを感じていただけていたら幸いなのですが……。地域で生涯学習に取り組んでいる個人やグループを紹介するコーナーも入れていましたが、取材を通じ、私自身が活躍する市民の方々を知ることができ、これが一番うれしかったことです。(足立弘美さん)



不思議な温かみのある紙面

「せがないわあ」「なんじょ!」「田んぼひつつきよるぞー」話している人の姿が浮かんできそうな、ザ・丹波篠山弁などが載る「ささやまあるある博覧会」。いつもにやけ顔で読ませていただきました。50号を迎えた四季の森通信。博覧会は読者の目を引く仕掛けで、メインは公民館事業の紹介です。いずれも公民館に親近感を抱いてもらいたいという思いが込められています。それぞれ知りたい情報を自分から探す時代。相手側から「つながりたい」という気持ちで書かれた文章には、不思議なあたたかみがあります。これからもそんな四季の森通信でありますように。(丹波新聞 森田靖久さん)



令和5年度 丹波ささやま 市民文化講座



豊かな里山、丹波篠山を基点に、学ぶ楽しさをさまざまな分野に求め享受し、驚きと発見の中で豊かな文化の継承と新たな文化を創造するため、年間5回の講座と2回の県外研修を開催します。

| 回 | と き | 内 容 | 講 師(敬称略) |
|---|-------------------|---|--|
| 1 | 6月 8日(木) ★開講式 | 家康どうする。青山もどうする。 ～家康、秀忠、家光の三代と青山忠成の生きた時代のエピソードを語る～ | 青山家第27代当主 青山 忠靖 |
| 2 | 7月 6日(木) | 【県外研修：大阪府高槻市、京都府長岡京市】 大王墓 今城塚と細川ガラシャの城 勝竜寺城を訪ねる 時間：8：30～18：00(予定) | |
| 3 | 8月 3日(木) | 重要伝統的建造物群保存地区について (篠山・福住地区) | 篠山まちなみ保存会 会長 川端 登 福住まちなみ保存会 会長 森田 忠 |
| 4 | 9月 7日(木) | 丹波国衆と家紋 | 家紋研究家 田中 豊茂 |
| 5 | 10月 4日(水) | 雲部車塚古墳の謎にせまる 被葬者は誰か！そのベールをはがす | 丹波篠山文化顕彰会 宇杉 幸知 |
| 6 | 11月 9日(木) | 【県外研修：滋賀県湖南市】 国宝の伽藍と紅葉の艶やかさ誇る湖南三山一常楽寺、長寿寺、善水寺を訪ねる 時間：8：30～18：00(予定) | |
| 7 | 12月 7日(木) ★閉講式 | 篠山藩郡奉行日記から解き明かす 村々のエピソード | 丹波ささやま市民文化講座アドバイザー 今井 進 |

※都合により内容が変更・中止になる場合があります。



令和4年度の様子

時 間 13：30～15：00

と ころ 丹波篠山市民センター 2階 多目的ホール(県外研修を除く)
駐車場に限りがありますので、乗り合わせもしくは公共交通機関をご利用ください

対 象 市内在住または在勤・在学の方

定 員 150人(先着順)

受 講 料 年間受講料1,500円(県外研修については、別途参加費が必要になります)
※初回講座の受け付けの際にお支払ください。
※納入後は返金できませんのでご了承ください。

申込期限・方法 4ページ下部に掲載

令和5年度 古文書講座



〈初級編〉 古文書初心者の方に。くずし字に親しむことから始めます。

〈中級編〉 いままで受講された方、より深く古文書を探求したい方へ。

| 回 | とき | 内容 |
|---|----------|----------------------------|
| 1 | 6月5日(月) | オリエンテーション 古文書の読み方と内容の講義 |
| 2 | 7月3日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |
| 3 | 8月21日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |
| 4 | 9月4日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |
| 5 | 10月2日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |

| 回 | とき | 内容 |
|---|------------------|----------------------------|
| 1 | 11月6日(月) | オリエンテーション 古文書の読み方と内容の講義 |
| 2 | 12月4日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |
| 3 | 令和6年 1月22日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |
| 4 | 2月5日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |
| 5 | 3月4日(月) | 古文書の読み方と内容の講義 |

講師(敬称略)
市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員
片山 正彦

講師(敬称略)
神戸大学大学院 人文学研究科 特命助教
松本 充弘

※都合により内容が変更・中止になる場合があります。

- 時間** 13:30 ~ 15:30
- ところ** 四季の森生涯学習センター 東館 1階 大会議室
- 対象** 市内在住または在勤・在学の方
- 定員** 初級編 40人 中級編 40人
- 受講料** 各編 年間1,000円(両編とも受講もできます。)
※各編の初回講座の受け付けの際にお支払いください。
※納入後は返金できませんのでご了承ください。



↑令和4年度の様子

申込期限・方法 下部に掲載

申込期限・申し込み方法 各講座共通

- 申込期限** 4月14日(金)
- 申込方法** 申込用紙を申込先に提出 ※申込用紙は申込先の施設に備えています。
- 申込先** 中央公民館(四季の森生涯学習センター内)、城東公民館、丹波篠山市役所地域振興課(第2庁舎1階)、各支所、丹波篠山市民センター
- その他** 申し込み多数の場合は、抽選となります。
抽選結果は5月10日(水)ごろまでにお知らせします。
- 問い合わせ** 古文書講座、郷土味学講座、おもしろゼミナール …中央公民館 ☎ 594-1180 / FAX 594-1174
市民文化講座 …城東公民館 ☎ 556-3171 / FAX 556-3914

令和5年度 郷土味学講座

調理実習



〈創造コース〉 丹波篠山の食材を使い、その活用や新しい食文化を創造することを学びます。新しい発見をしたい方、アレンジを学びたい方、食のリーダーをめざす方にお勧めのコースです。

| 回 | とき | 内容 | 講師(敬称略) |
|---|------------------|--------------------------------|---|
| 1 | 5月30日(火) | 季節の地元野菜でピッツアを作ろう | Gunge Pizza 伊熊 司朗 9:00 ~ 14:00開催 |
| 2 | 9月5日(火) | やさしいベトナム料理 人気のフォーを作ってみましょう! | テテジャスミン クッキングスクール主宰 矢野 典子 |
| 3 | 10月24日(火) | 地元野菜で カフェごはんを作ろう♪ | アグリステーション丹波ささやま 西尾 雅子 |
| 4 | 11月28日(火) | クリスマス スイーツ LESSON | SASAYAMA kitchen 中野 朋子 13:00 ~ 15:00開催 |
| 5 | 令和6年 1月30日(火) | 新そば厄除け そば打ち体験会 | 全麺協認定 三段 濱園 俊弘 9:00 ~ 13:00開催 |

〈伝承コース〉 郷土料理を作る人を増やし、次世代へ丹波篠山の食文化を伝えるリーダーをめざします。郷土料理に興味のある方、新しく丹波篠山に居住された方などにお勧めのコースです。

| 回 | とき | 内容 | 講師(敬称略) |
|---|-----------------|----------------------------|------------------------------|
| 1 | 6月6日(火) | 夏のごちそう ちりめん山椒ごはん・茶葉のかきあげなど | 全国料理学校協会 教員 栄養士 田中 のぶ子 |
| 2 | 9月26日(火) | 秋のごちそう しめ鯖まき・森のお月さまなど | |
| 3 | 10月31日(火) | 冬のごちそう とふめし・いものこ汁・大学芋など | |
| 4 | 12月19日(火) | お祝いのごちそう 黒大豆寿司・山の芋の黄金あげなど | |
| 5 | 令和6年 2月6日(火) | 春のごちそう お赤飯・鯖の味噌煮・きなこボーロなど | |

| 回 | とき | 内容 | 講師(敬称略) |
|---|------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1 | 6月27日(火) | 夏のアジワイ なす飯・新玉ねぎの肉巻き・琥珀寒天など | 全国料理学校協会 教員 栄養士 田中 のぶ子 |
| 2 | 10月3日(火) | 秋のアジワイ 栗おこわ・ごごり茶巾・栗おはぎなど | |
| 3 | 11月14日(火) | 冬のアジワイ しめじご飯・ごぼう汁・秋和えなど | |
| 4 | 令和6年 1月16日(火) | 郷土の味わい 菊菜のかき揚げ・揚げ小芋・薯蕷饅頭など | |
| 5 | 2月27日(火) | よろしゅうおあがり 蒸し寿司・ぼたもちなど | |

※都合により内容が変更・中止になる場合があります。

- 時間** 10:00 ~ 14:00
(一部時間の変更があります)
- ところ** 四季の森生涯学習センター
西館・調理実習室
- 対象** 市内在住
または在勤・在学の方
- 定員** 創造コース 40人
伝承コース 基礎40人
応用40人

受講料 年間6,000円(材料費含む) ↑令和4年度 伝承コース応用①

※各初回講座の受け付けの際にお支払いください。
※納入後は返金できませんのでご了承ください。
※テキストをご準備ください(別途販売 各1,300円)。
基礎「よろしゅうおあがり」
応用「よろしゅうおあがり」「よろしゅうおあがりⅡ」

申し込み方法・期限 4ページ下部に掲載



令和5年度 丹波ささやま おもしろゼミナール



歴史・文化・自然に直接触れて学ぶ現地学習です。五感を使って新たな丹波篠山に触れてみませんか？

| 回 | とき | 内容 見学予定地 | 講座名 講師(敬称略) |
|---|-----------|--|--|
| 1 | 6月14日(水) | 狛犬は各々の神社にあります。全て一律ではありません。丹波篠山市内の神社で表情豊かな一風変わった狛犬を紹介します。 | おもしろ狛犬めぐり |
| | | 丹波篠山市内 西部方面 | 土性 清隆 |
| 2 | 7月19日(水) | 丹波篠山市の東部方面に点在している名木・巨木をめぐり木々達に残された歴史や言い伝えなどを探ります。 | 名木・巨木めぐり |
| | | 丹波篠山市内 東部方面 | 樋口 清一 |
| 3 | 8月28日(月) | 丹波篠山産の茶葉を使用した和紅茶づくり体験。茶摘みから乾燥まで全て手作りで作り、オンラインな和紅茶を作ります。(茶畑入場料別途500円) | 和紅茶プレミアム体験 ※天候や茶葉の生育状況により茶摘み体験ができない場合があります。 |
| | | 丹波篠山市内 味間地区ほか | 中尾 真紀子 |
| 4 | 9月6日(水) | 古くから語り継がれてきた民話や伝説は人の和、やさしさ、人が生きていく道を教えてくれます。民話や伝説の里を訪ね古に思いを馳せます。 | 民話の里めぐり |
| | | 丹波篠山市内 | 語りベサークル ふるさと |
| 5 | 10月18日(水) | 明智光秀が丹波制圧の為に築いた金山城を登山します。本丸からは八上城・黒井城を眺めることができます。 | 山城めぐり |
| | | 丹波篠山市・丹波市 | 田中 豊茂 |
| 6 | 11月15日(水) | 丹波篠山には国・県・市指定の文化財が多くあります。市内の社寺で永きにわたり大切に保管されている仏像などの文化財をめぐります。 | 文化財めぐり |
| | | 丹波市篠山市内 | 今井 進 |

※都合により内容が変更・中止になる場合があります。

- 時間・ところ** 各講座により異なります
詳細は決まり次第連絡します
- 対象** 市内在住または在勤・在学の方
- 定員** 各講座25人程度(1人3講座まで受講可能)
- 受講料** 1講座につき1人500円
(ただし、入館料等の実費負担があります)
※納入後は返金できませんのでご了承ください。



↑令和4年度の様子

申込期限・方法 4ページ下部に掲載

～私の「丹波篠山世間遺産」～



丹波ささやま五十三次 ～忘れ去られた取り組み～

4町合併以前、旧篠山町時代の1989年(平成元年)から2年間を費やし「旧篠山町制100周年・篠山築城380年記念事業」として「ふるさと再発見事業」「丹波篠山五十三次事業」が実施されました。そこでは、まず社寺仏閣・歴史的遺産など95カ所のポイントを選定し、その中からさらに53カ所を「丹波ささやま五十三次」として絞り込んで写真のような石柱を建てるといふものです。

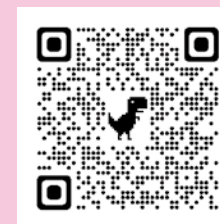
丹波篠山には篠山城跡のような国指定の史跡から地元の人しか知らないような名所、史跡まで数多く存在します。点と点を結び、線にする。そして線と線を結び、囲まれた面をひとつのパッケージ「丹波篠山五十三次」として観光資源や教育資源として活用しようと考えられたのでしよう。

さて、それから約30年の時が流れ、その存在を記憶に留めておられる方が何人いることでしょうか？多くの方々は、それぞれ点在する名所や史跡の存在は知っていても、それらをひとつのパッケージとした「丹波ささやま五十三次」の存在は忘れてしまっているのではないのでしょうか？「日常の生活の中で、後世に残したい、語り継ぎたいもの」と定義された「丹波篠山世間遺産」として、この取り組みはぴったりではないのでしょうか。



「丹波ささやま五十三次」のひとつ。上宿にある「血寄地蔵」

「丹波篠山世間遺産」
についてはこちら



「丹波ささやま五十三次」
についてはこちら



最終回 篠山のむかしばなし実物写真館



蔵王権現さまがおまつりされている丹波篠山市池上の御刀代神社

『まむし除けの 仏さま』

今から800年ほどのむかし、畑山にはたくさんお寺がありました。ところが大峰山にあったお寺と仲が悪くなり、お寺は火がつけられみんな灰になりました。

その時頼慶と言うお坊さんが、蔵王権現さまを背負って真南条の龍蔵寺に逃げました。龍蔵寺の谷にはたくさんのまむしが住んでいて、村の人たちはまむしにかまれ、時には死んでしまうことがありました。ところが蔵王権現さまをおまつりするようになってからは1匹も出なくなりました。村の人たちは喜びました。それから500年ほどたった頃、八上村の池上の里は田んぼや畑に米や野菜が豊かに実り村の人たちはみんな仲よく暮らしていました。ところがこの村にはひとつだけ困ったことがありました。それはたくさんのまむしがいたことでした。草刈りで足をかまれたり、山で手をかまれたり次々とまむしにかまれた話でもちぎりでした。………続きは丹波のむかしばなし(第7集)をご覧ください………

【丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし第1～10集】1冊500円
(財)兵庫県丹波の森協会発行)は公民館でも購入できます。

最終回 ささやまあるある 博覧会

『まいまいこんこの忙しさ』

むかしから「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と、年始から年度末の慌ただしさを表現したり、忙しい様子を「てんでこまい」とか「きりきりまい」と表したりします。

「丹波篠山でも「まいまいこんこ」という言葉があるじょ」と地元の方からお聞きし、調べてみました。確かに、古い大阪弁や岐阜県の飛騨地方、但馬などでは「忙しくてあたまふたとした状態」を「まいまいこんこ」と言ったり、明石では、雪が風に舞う様子を「まいまいこんこ」、京都では水生昆虫の「ミズスマシ」の事をさしたりしています。

「まいまい」の部分は「毎々」をあてたり「舞い舞い」からきているという説やら………

このコーナーも開始から22回を数え、毎回原稿の締め切り前には「まいまいこんこ」していたことが懐かしく感じられます。

